

製品名: IGFBP2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80645**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	IGFBP2
別名	IBP2; IGF-BP53
遺伝子 ID	3485.0
SwissProt ID	P18065
免疫原	大腸菌で発現したタンパク質 IGFBP2 (aa180-328) の精製された組み換え断片。

背景

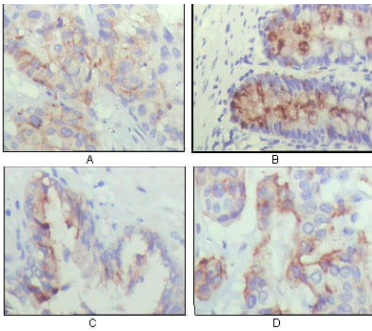
IGFBP2: インスリン様成長因子結合タンパク質 2。IGFBP2 は、様々な IGF に結合する ISGBP ファミリーのメンバーです。IGFBP2 は、神経腫、前立腺がん、滑膜肉腫、神経芽腫、大腸がん、副腎皮質がん、肺がん、ウィルムス腫瘍、肝芽腫など、幅広いがん

において過剰発現しています。また、IGFBP2 の過剰発現は、一部の腫瘍の悪性度と相関しています。IGFBP2 は、細胞浸潤に寄与するマトリックスメタロプロテアーゼ 2 の発現を活性化します。

研究分野

-

画像データ



IGFBP2 マウス mAb と DAB 染色を使用して細胞質局在を示す、パラフィン包埋ヒト肺がん (A)、直腸がん (B)、前立腺がん (C)、結腸がん (D) の免疫組織化学分析。